

Press Release



令和 8 年 2 月 10 日

県内初の湖上を滑空する全長 600m の 新たなアクティビティ誕生！

長崎県大村市の「フォレストアドベンチャー・おおむら長崎」内

令和 8 年 3 月 20 日オープン

大村市野岳湖公園そばにある「フォレストアドベンチャー・おおむら長崎」(大村市東野岳 1596-1)に、新たなアクティビティとして**長崎県内初**の湖越え「ジップトリップコース」が誕生します。

大村市が整備するこのコースでは、野岳湖の上空を一気に滑空できる往復全長約 600m のロングジップスライドが楽しめ、足元に湖を感じながら、穏やかな湖面と野岳湖周辺の豊かな自然、野岳大橋を望む、ここでしか味わえない爽快なジップスライド体験をお楽しみいただけます。

豊かな自然資源(湖・森)を生かし、アウトドアアクティビティを新たな観光資源として捉えた「アウトドア・スポーツ・ツーリズム」を推進する大村市の新たな目玉コンテンツとして、ご家族連れや友人同士、観光客の皆さんに、忘れられない感動をお届けします。



湖越えジップスライドのイメージ

ジップトリップコースの概要

湖の上を滑空するジップスライドならではの高さと開放感が心地よく、風を切って進むスピード感はまるで空を飛んでいるかのような感覚です。高さや開放感を味わいたい方、初心者や体力に自信のない方でもチャレンジでき、所要時間も他のコースに比べると短いので、気軽に楽しんでいただけます。

- オープン日時: 令和 8 年 3 月 20 日
- 場所: フォレストアドベンチャー・おおむら長崎
- 対象者: 身長 130cm 以上、体重 100kg まで
- 料金: 2,500 円(税込/1 名様)※往復コース
- 申込方法: オープン 1 か月前より公式ホームページの専用サイトから予約受付開始
公式 WEB サイト: <https://foret-aventure.jp/park/fa-omuranagasaki/>



フォレストアドベンチャー・おおむら長崎の概要

令和7年4月26日、自然豊かな観光地として親しまれている野岳湖公園にオープン。長崎空港から車で約20分、大村ICから約15分とアクセス抜群です。本格的な樹上15mの体験ができるアドベンチャーコースや、初心者やファミリーで楽しめる低難易度のキャノピーコースがあります。団体貸切にも対応しており、サークル・遠足や校外学習などの学校団体利用も可能です。

隣接する野岳湖公園では、四季折々の景色の中でキャンプ、BBQ、サイクリングなどを楽しむことができ、フォレストアドベンチャーとあわせて、子どもから大人まで世代を超えて丸一日満喫できます。

フォレストアドベンチャー・おおむら長崎の公式ウェブサイトおよび公式Instagram

公式WEBサイト: <https://foret-aventure.jp/park/fa-omuranagasaki/>

公式Instagram: https://www.instagram.com/fa_omuranagasaki/

本件に関する問い合わせ先

●大村市 観光振興課

西 TEL: 0957-53-4111

E-mail: kankou@city.omura.nagasaki.jp

●長崎県 秘書・広報戦略部 ながさきPR戦略課(プレスリリース配信業務担当)

川原 TEL: 095-895-2026

E-mail: s18020@pref.nagasaki.lg.jp

(付属資料)

大村市の概要

長崎県の中央部に位置する大村市は、豊かな自然と歴史文化が調和するまちです。市の西側は大村湾、東側は多良山系に囲まれており、四季折々の風光明媚な景観を有するほか、日本で最初のキリスト教大名となった大村純忠は、1582年に4人の天正遣欧少年使節をローマに派遣するなど、日本の歴史において大きな役割を果たしました。

大村湾に浮かぶ箕島(みしま)周辺を造成して作られた、世界初の本格的な海上空港の長崎空港に加え、令和4年に西九州新幹線が開業したことにより、「空港」「高速道路」「新幹線」という高速交通の“三種の神器”が揃うまちとなりました。

生活の利便性や、子育て環境が充実しているなどの理由から、人口は長崎県内で唯一、1970年から50年以上連続で増加しており、2025年に行われた全国の335の自治体で働く世代2万人が実際に住んでいる街・直近で住んでいた街に対しての住みよさを評価する「シティブランド・ランキング(住みよい街 2025)」では、東京の都心3区に続き、全国第4位にランクインし、「子育てしやすい自治体ランキング」では、堂々の全国1位を獲得しています。



大村市のおすすめ施設

■ミライ on 図書館(長崎県立・大村市立一体型図書館)

令和元年10月5日にオーブンしたミライ on 図書館は、収蔵能力は約202万冊で、九州ではトップクラスの図書館です。

1階や屋外広場は、人々が集い出逢いにあふれた賑わいの空間として、2階から4階は、本との出逢いや知識を深める静かな空間として整備しています。



■ボートレースおおむら

全国で初めてモーターボート競走を開催した「ボートレース発祥の地」です。日本初のボートレースが開催された歴史ある施設で、迫力あるレースを間近で体感！ナイターレースも開催されています。2024年度の売上げは、1,921億円で、全国24か所のボートレース場の中で、5年連続で売上日本一を達成しています。



■コミュニティパークグルーンおおむら

ボートレースおおむらに併設するグルーンおおむらには、子ども向け遊び場やボルダリング施設、スケートボード場もあります。年間を通じてイベントも充実し、こどもからおとなまで楽しめます。



大村市の特産品

■ゆでピーナツ

正式には塩ゆで落花生。落花生の産地大村で、もともと農家が市場に出荷できない状態の未成熟品などをどうにかできないものかとの考えから、ゆでてみたのが始まりといわれています。

新鮮な落花生を昔ながらの大きな平釜に入れ、塩などで味付けしながら、約2時間半ゆでます。おやつやビール・お酒のおつまみに最適で、大人から子どもまで一度食べ始めたら止まらない大村人の必須食アイテムです。



■へこはずしおこし

米を蒸し乾燥させたものを煎り、自家製の水飴をまぶし黒砂糖を入れ作られたもので、創業延宝7年(1679)と340年余り前からこの製法は変わりません。今や8代目となり、松原宿に店を構えています。

この「へこはずし」の名称は、男性の下着を「へこ」と言って、あまりのうまさに、その「へこ」がはずれていますことにも気づかなかったという故事からついたといわれています。



■黒田五寸人参

大正末期頃、大村市黒丸町の黒田正氏が日本農林社から丸山五寸を導入。長崎五寸も同地帯に栽培され、昭和10~20年に黒田・吉田両氏が採種を繰り返している間に自然交雑したものを、肩部、尻詰まり、芯のいろなどを改良して育成されました。

この品種は、耐暑性が非常に強く、草勢の旺盛な夏播き型品種です。根色はニンジン品種中、最も濃く、中心部まで濃紅橙色(紅心)で、カロチンを非常に多く含みます。肉質は軟らかく、ニンジン臭もありません。食味は最高であり、特に生食やジュースなど、ヘルシー食品に最適です。

